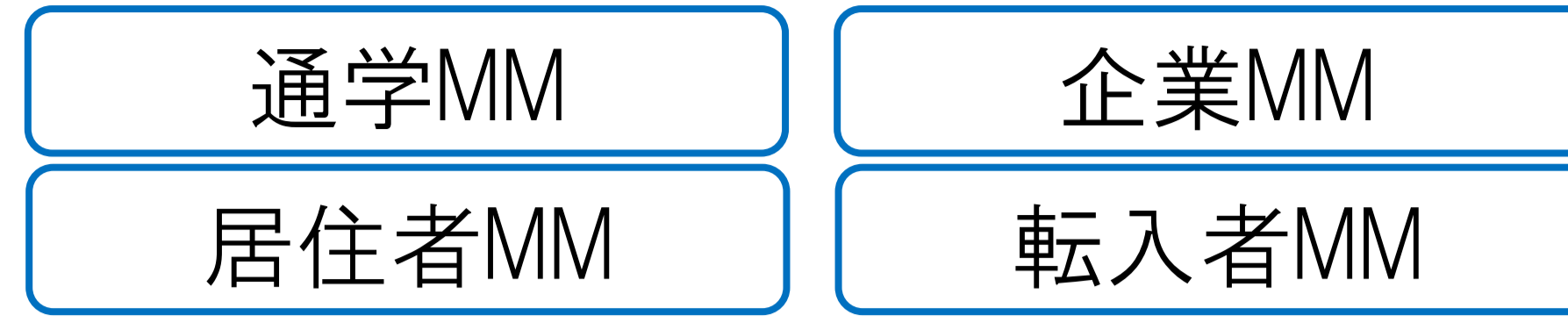


# 八代市における公共交通網の有効活用に向けた乗換情報の提供によるMM

## 1. 取り組みの背景と目的

熊本県八代市では、これまでに通学MMなど特定の層に焦点を当てたMMを展開してきた。しかし、路線や利用目的は限定的であった。平成29年10月に再編した市全域における公共交通ネットワークをより強固なものにしていくためには、交通モード・路線の乗継利用や公共交通利用機会の拡大を促していくことが必要である。本取組では全面的な再編を実施した機会を捉え、交通モードや路線の乗継利用に焦点を当てたMMを実施したものである。

地域公共交通網形成計画策定(H27.3)



利用促進は一定程度図られたものの、その利用路線や利用目的は限定的

- 高校生は通学にしか使ってくれない
- 高齢者もいつもの通院にしか使ってくれていない

地域公共交通再編実施計画策定(H29.6) ※H29.10市全域を再編

公共交通ネットワークをより強固なものにしていくためには、交通モード・路線の乗継利用や公共交通利用機会の拡大を促していくことが必要

- 通院だけではなく、買物にも使ってもらえる
- いつもの病院ではなく、本当は行きたい病院にも行ける

## 2. 取り組み内容

平成29年10月に再編（改善）してきた公共交通サービスを“うまく”使いこなしてもらうためのツールとして、市内エリアごとに公共交通マップ、乗継時刻表、公共交通利用啓発冊子を作成・配布し、加えて公共交通への関心や利用を働き掛けるアンケート調査を実施した。

### ◆ 乗継ポイント・利用路線と沿線の施設を明示して普段利用できることをアピール



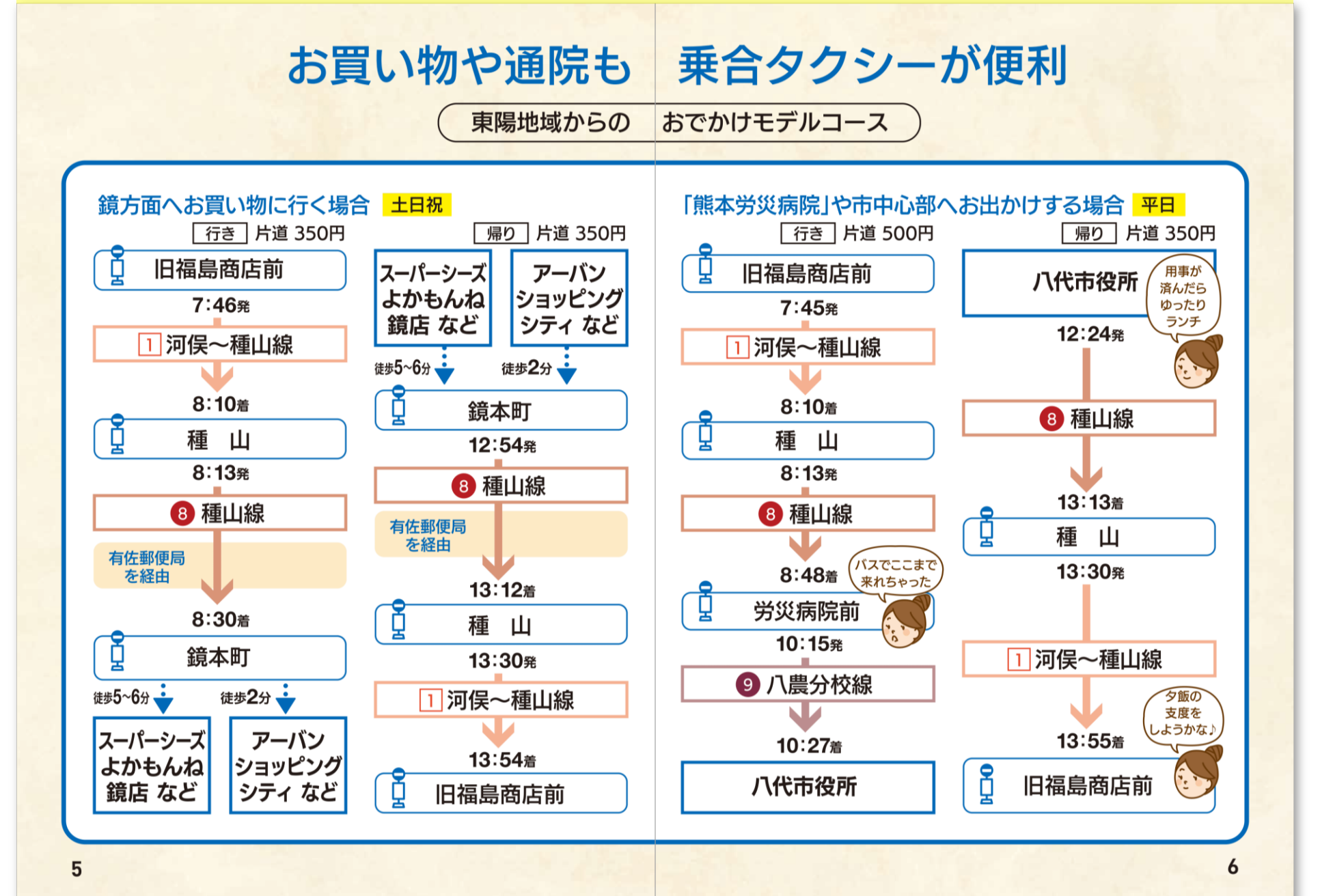
▲ 公共交通マップ

### ◆ 乗継利用時の時刻表、所要時間(待ち時間)を示して不安感を軽減



▲ 乗継時刻表

### ◆ 外出先までの乗継利用モデルを提示して具体的なイメージを与える



▲ 公共交通利用啓発冊子

## 3. 取り組みの効果（アンケート結果）

- ✓ 高齢者を中心に、既存公共交通利用者の**利用機会の増加**や**公共交通への転換**が図られた。（図1）
- ✓ 利用機会増加を図るには“公共交通でも遠方に外出できること”や“公共交通でも普段の買い物先へ行くこと”のメリットを訴求していくことが有効。（図2）

図1 ツール配布前後の利用頻度の変化

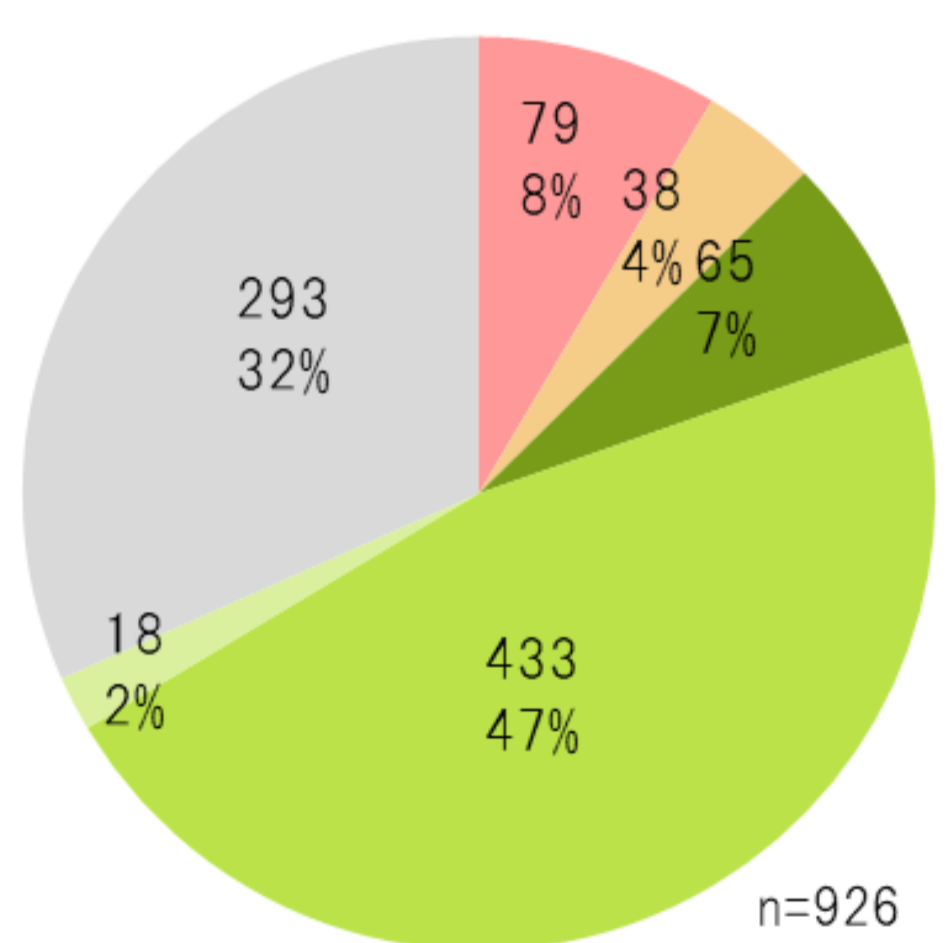
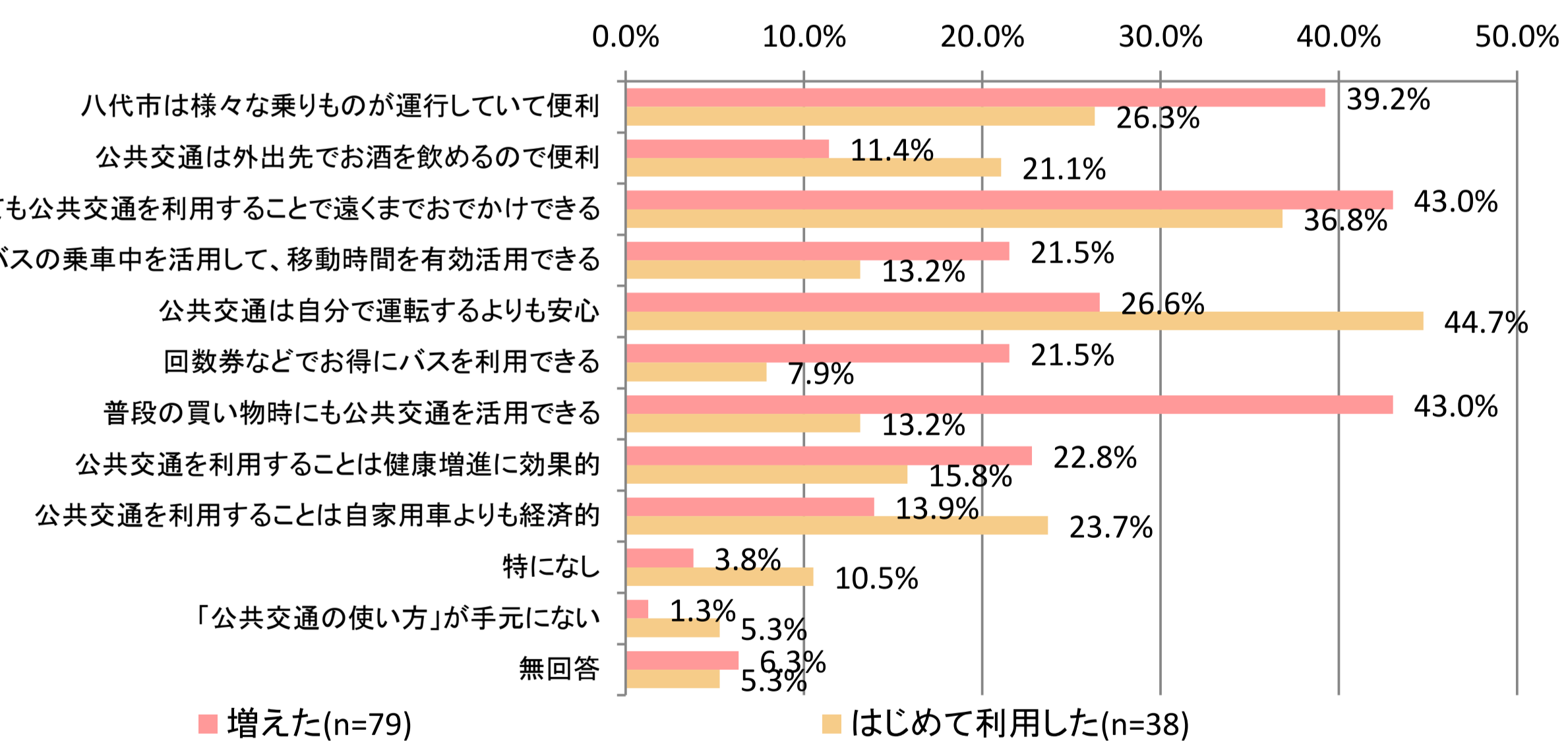


図2 利用頻度増加層の興味・関心事項



- ✓ **乗継利用の促進**が図られ、さらに乗継体験によって**移動制約者に対する不安の軽減**や**公共交通に対する抵抗感の軽減**が図られた（図3、4）

図3 乗継利用状況変化

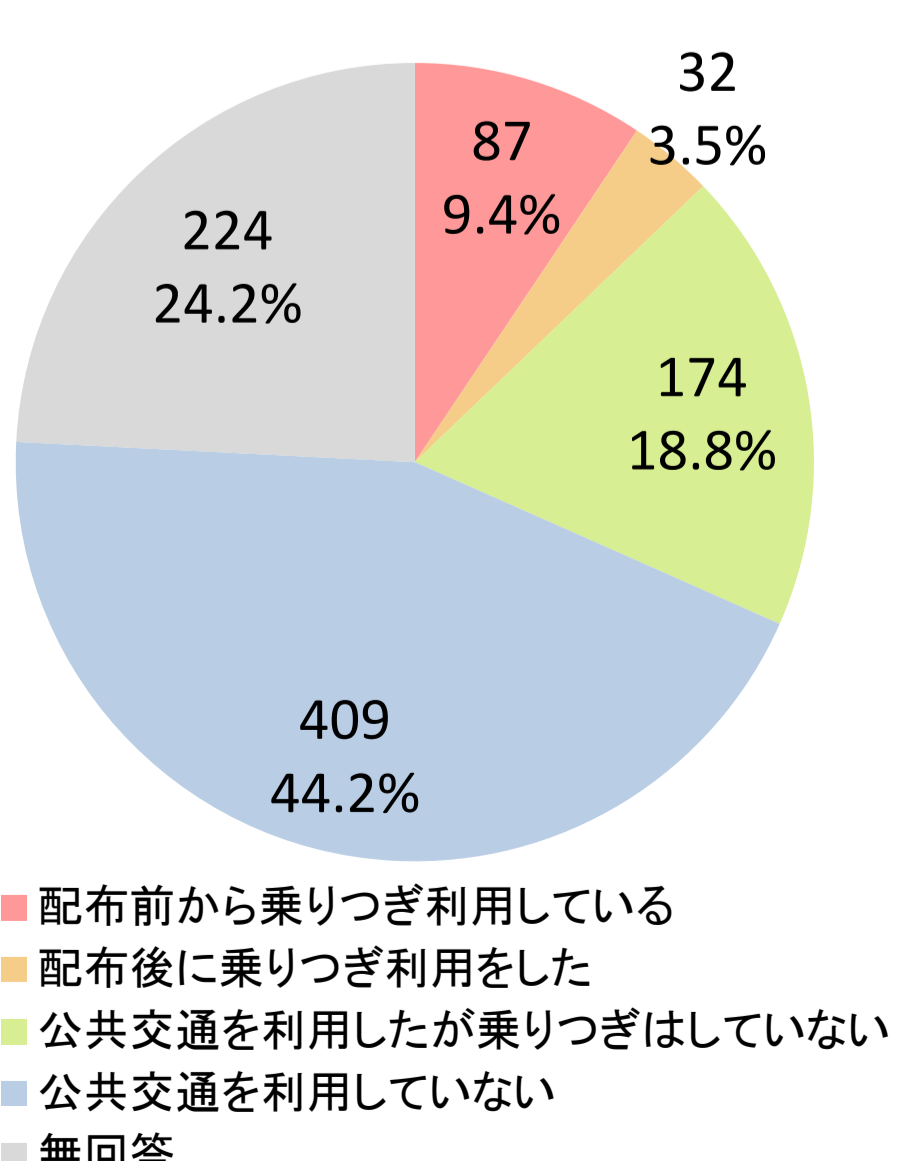
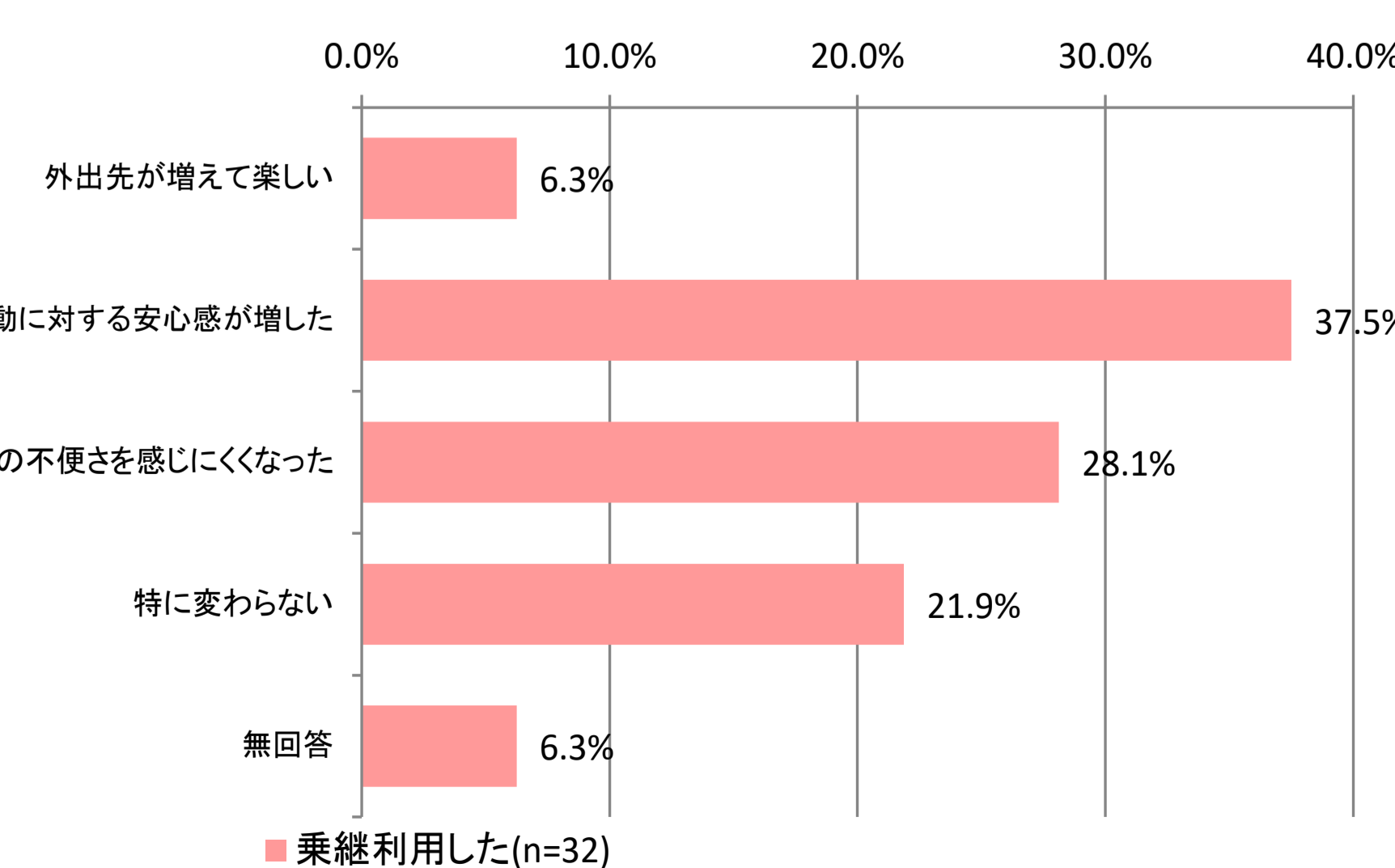


図4 利用頻度増加層の興味・関心事項



- ✓ **利用機会の増進、公共交通への転換、乗継利用の促進**を図るには、**路線やダイヤの検索を体験**させることが有効（図5）

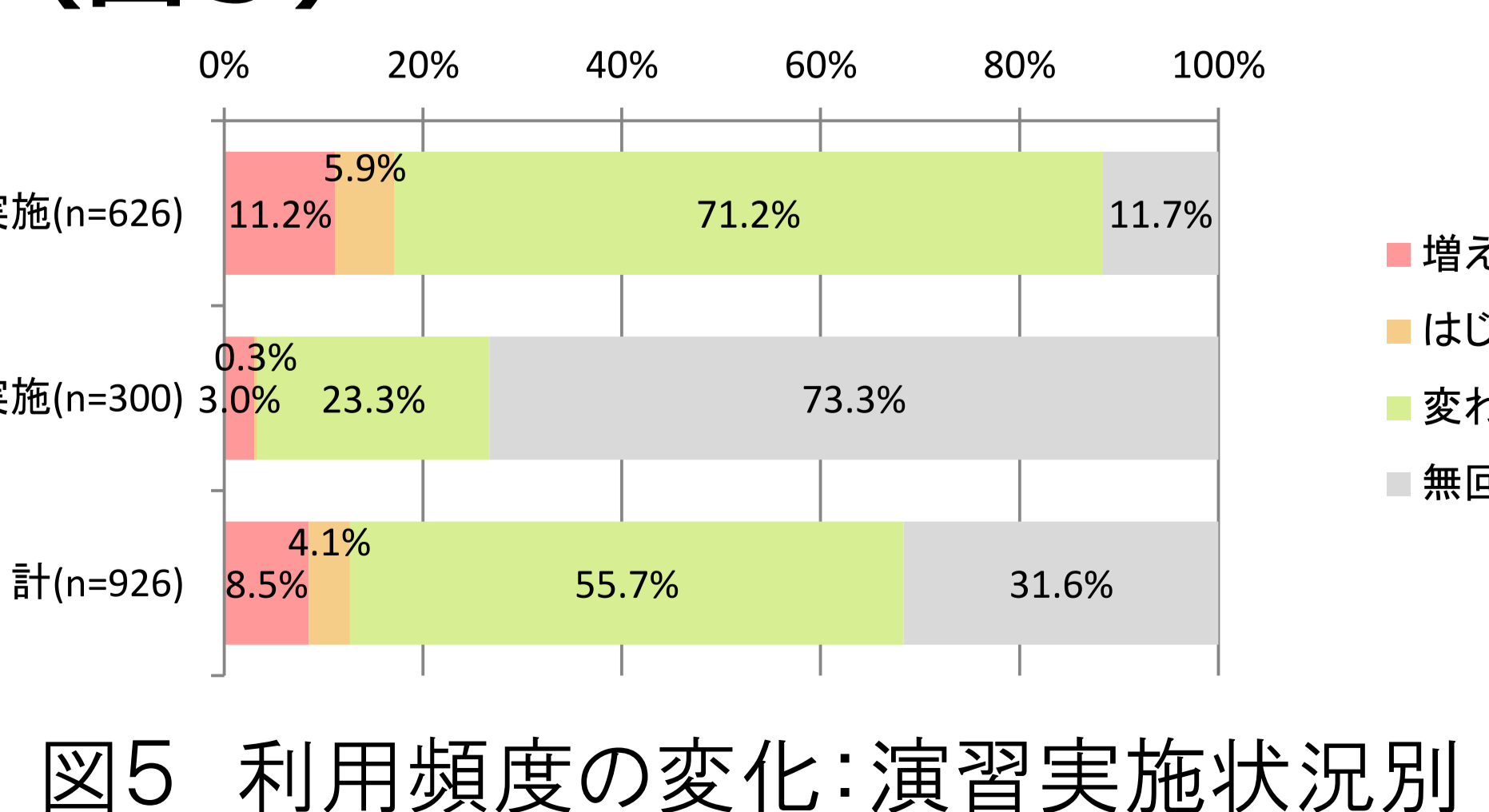


図5 利用頻度の変化：演習実施状況別